



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東  
 コード番号 4576 URL <https://www.dwti.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松原 さや子 (TEL) 052-218-8785  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	313	1.6	△457	—	△453	—	△443	—
2022年12月期第3四半期	309	△2.1	△251	—	△239	—	△226	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 △455百万円 (—%) 2022年12月期第3四半期 △240百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	△14.02	—
2022年12月期第3四半期	△7.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	2,626	1,652	62.7
2022年12月期	2,956	1,873	62.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 1,647百万円 2022年12月期 1,856百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400	△10.7	△1,400	—	△1,410	—	△1,390	—	△44.60

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	32,128,012株	2022年12月期	30,871,138株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	285株	2022年12月期	100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	31,662,901株	2022年12月期3Q	29,408,326株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは新薬の継続的な創出と開発パイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

上市品（緑内障治療剤「グラナテック<sup>®</sup>点眼液0.4%」、緑内障治療剤「グラアルファ<sup>®</sup>配合点眼液」、眼科手術補助剤「DW-1002」（単剤及び配合剤））については、ライセンスアウト先において順調に販売されております。

特に、「DW-1002」は販売数量の増加並びに円安の影響を受け、前年同期比増収で推移いたしました。

開発パイプラインについては、ライセンスアウト済み開発品であるフックス角膜内皮変性症治療剤「K-321」が昨年開始された米国第Ⅲ相臨床試験に続き、3月にグローバル第Ⅲ相臨床試験が開始されました。また、眼科手術補助剤「DW-1002」の単剤は5月に中国へ承認申請し、さらに、配合剤は7月に米国でオーファンドラッグ指定を受けました。共同開発品である神経疼痛治療薬「DW-5LBT」は3月に再申請を行いました。9月に審査完了報告通知を受領いたしました。現在、FDA指摘事項に適切に応答すべく、対応を進めております。また、再生医療用細胞製品「DWR-2206」は7月に開発計画を決定いたしました。自社開発品である緑内障治療剤「H-1337」は8月に米国後期第Ⅱ相臨床試験の投与を開始いたしました。

研究プロジェクトについては、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動及び他社との共同研究を推進いたしました。

以上の結果、売上高については、各上市品のロイヤリティ収入等により、合計313百万円（前年同期比1.6%増）を計上し、売上原価に27百万円（前年同期比45.9%増）を計上しました。

販売費及び一般管理費については、743百万円（前年同期比37.3%増）となりました。その内訳は、研究開発費が「H-1337」及び「DWR-2206」の開発費用の増加等により545百万円（前年同期比55.2%増）、その他販売費及び一般管理費が人件費の増加等により198百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

これらにより、営業損失は457百万円（前年同期営業損失251百万円）、経常損失は453百万円（前年同期経常損失239百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は443百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失226百万円）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下のとおりです。

## ①上市品

製品名等		対象疾患	地域	ライセンスアウト先	
リバスジル塩酸塩水和物	グラナテック <sup>®</sup> 点眼液0.4%	緑内障・高眼圧症	日本、アジア (注)	興和	
リバスジル塩酸塩水和物 ／ブリモニジン酒石酸塩	グラアルファ <sup>®</sup> 配合点眼液	緑内障・高眼圧症	日本		
DW-1002	ブリリアントブルー-G	ILM-Blue <sup>®</sup> 、TissueBlue <sup>™</sup>	内境界膜染色	欧州・米国等	DORC
	ブリリアントブルー-G／トリパンプルー	MembraneBlue-Dual <sup>®</sup>	内境界膜、網膜上膜及び増殖硝子体網膜症における増殖膜染色	欧州等	

(注) アジア一部地域において上市されております。

## ②開発パイプライン

開発コード等		対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
K-321	リバスジル塩酸塩水和物	フックス角膜内皮変性症	第Ⅲ相臨床試験	米国、欧州等	興和
DW-1002	ブリリアントブルー-G	内境界膜染色	申請	中国	DORC
			第Ⅲ相臨床試験	日本	わかもと製薬
	水晶体前囊染色	第Ⅲ相臨床試験	日本		
	ブリリアントブルー-G／トリパンプルー	内境界膜及び網膜上膜染色	申請準備中	米国	DORC

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
DW-1001	眼科用治療剤（非開示）	第Ⅰ相臨床試験	日本	ロート製薬
H-1337	緑内障・高眼圧症	後期第Ⅱ相臨床試験	米国	自社開発
DW-5LBT	帯状疱疹後の神経疼痛	申請	米国	メドレックスと共同開発
DWR-2206	水疱性角膜症	非臨床試験	日本	アクチュアライズと共同開発
未熟児網膜症治療薬（注）	未熟児網膜症	臨床試験準備中	日本	子会社JIT開発

（注）JITは未熟児網膜症等診断薬について、アジア一部地域における独占的実施権をSplendor Health International Limitedに再許諾するライセンス契約を締結しております。

### ③研究プロジェクト

当社グループは、プロテインキナーゼ阻害剤を中心とした新薬候補化合物の創出を行っております。プロテインキナーゼを対象とする疾患は様々ですが、特に眼科関連疾患に注力した研究を推進しております。また、自社の創薬基盤技術を活かし、他社との提携を積極的に推進しております。

主なプロジェクトとしては、眼科関連疾患や神経系、呼吸器系疾患等を対象としたシグナル伝達阻害剤開発プロジェクトを当社研究所（国立大学法人三重大学の研究施設）において行っております。また、共同研究として、ユビエンス株式会社との標的タンパク質分解誘導薬プロジェクト、SyntheticGestaltとの炎症系・中枢系疾患を対象にしたキナーゼ阻害剤のAI創薬プロジェクト、ラクオリア創薬株式会社との眼疾患治療薬創製プロジェクト等、複数のプロジェクトを進めております。

## （2）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末から329百万円減少し、2,626百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から310百万円減少し、2,348百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が296百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末から19百万円減少し、278百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が7百万円増加した一方で、契約関連無形資産が30百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末から109百万円減少し、973百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から52百万円減少し、158百万円となりました。主な要因は、未払金が38百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が85百万円減少したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末から56百万円減少し、815百万円となりました。主な要因は、長期借入金が72百万円増加した一方で、転換社債型新株予約権付社債が128百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末から220百万円減少し、1,652百万円となりました。主な要因は、転換社債型新株予約権付社債の転換及び新株予約権の行使等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ117百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が443百万円減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は62.7%となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期連結業績予想につきましては、2023年2月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,334,668	2,038,049
売掛金	170,755	170,414
貯蔵品	79,211	85,796
その他	74,436	54,281
流動資産合計	2,659,072	2,348,540
固定資産		
有形固定資産	10,105	17,806
無形固定資産		
契約関連無形資産	123,428	92,571
その他	1,101	3,362
無形固定資産合計	124,529	95,934
投資その他の資産	162,668	164,341
固定資産合計	297,303	278,082
資産合計	2,956,376	2,626,622
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	120,000	34,762
未払金	64,210	103,022
未払法人税等	11,234	6,550
その他	15,762	14,020
流動負債合計	211,207	158,355
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	734,693	606,122
長期借入金	113,000	185,238
その他	24,000	24,000
固定負債合計	871,693	815,360
負債合計	1,082,900	973,715
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	714,244	831,617
資本剰余金	2,772,484	2,889,857
利益剰余金	△1,629,961	△2,073,882
自己株式	—	△0
株主資本合計	1,856,767	1,647,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△222	△148
その他の包括利益累計額合計	△222	△148
新株予約権	943	699
非支配株主持分	15,987	4,763
純資産合計	1,873,475	1,652,907
負債純資産合計	2,956,376	2,626,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	309,158	313,994
売上原価	19,008	27,730
売上総利益	290,149	286,264
販売費及び一般管理費		
研究開発費	351,470	545,612
その他	190,201	198,289
販売費及び一般管理費合計	541,671	743,901
営業損失(△)	△251,521	△457,637
営業外収益		
受取利息	25	10
為替差益	37,756	7,394
その他	1,008	11
営業外収益合計	38,789	7,416
営業外費用		
支払利息	2,465	1,816
株式交付費	—	1,396
支払手数料	13,386	376
新株発行費	10,825	—
その他	—	137
営業外費用合計	26,677	3,726
経常損失(△)	△239,408	△453,947
税金等調整前四半期純損失(△)	△239,408	△453,947
法人税、住民税及び事業税	1,196	1,196
法人税等合計	1,196	1,196
四半期純損失(△)	△240,605	△455,144
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,138	△11,223
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△226,467	△443,920

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△240,605	△455,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△338	△148
その他の包括利益合計	△338	△148
四半期包括利益	△240,943	△455,292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△226,805	△444,069
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,138	△11,223



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
減価償却費	34,361千円	35,738千円

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債に付された新株予約権の権利行使及び第11回新株予約権の行使等がありました。この結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ117,373千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が831,617千円、資本準備金が2,889,857千円となっております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。